講演とコンサート
アートとケア ―あなたと共に―

―実施報告書―

2025 年 7 月 20 日

「アートとケア・いのちの対話館」

開催概要

タイトル ： 講演とコンサート　アートとケア ―あなたと共に―

日　　時 ： 2025 年 7 月 13 日(日) 14:00-16:30

会　　場 ： 日本キリスト教団　行人坂教会（東京都目黒区下目黒 1-4-1）

主　　催 ：「アートとケア・いのちの対話館」

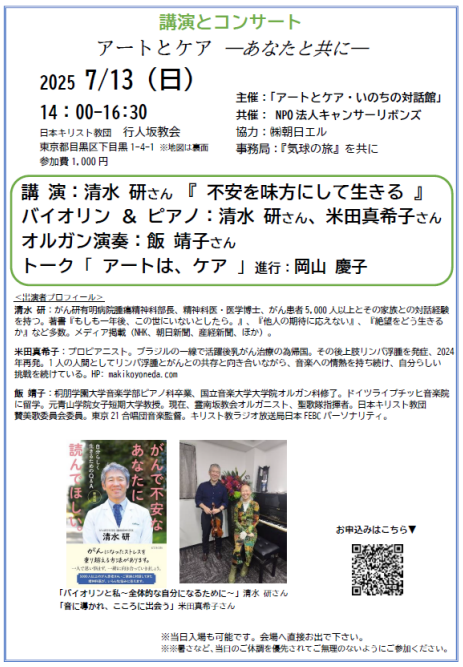
共　　催 ： NPO 法人キャンサーリボンズ

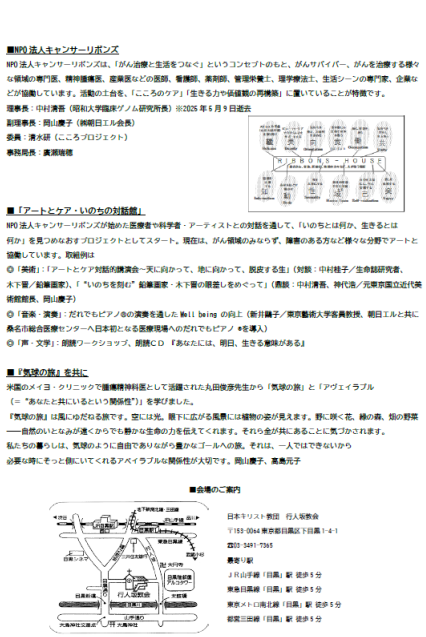
協　　力 ： 株式会社朝日エル

事 務 局：『気球の旅』を共に

会場アクセス：

JR山手線「目黒」駅 徒歩 5 分、東急目黒線「目黒」駅 徒歩 5 分
東京メトロ南北線「目黒」駅 徒歩 5 分、都営三田線「目黒」駅 徒歩 5 分





＜チラシ＞

◆参加者　：　94 名

■プロジェクト紹介

□NPO 法人キャンサーリボンズ

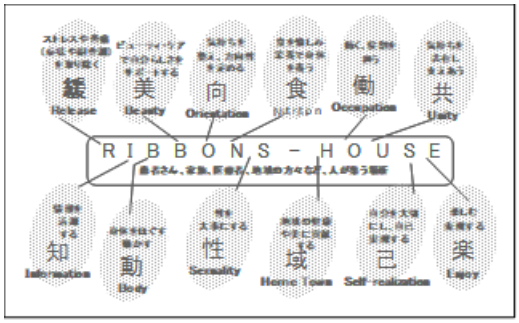
NPO 法人キャンサーリボンズは、「がん治療と生活をつなぐ」というコンセプトのもと、がんサバイバー、がんを治療する様々な領域の専門医、精神腫瘍医、産業医などの医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、生活シーンの専門家、企業などが協働しています。活動の土台を、「こころのケア」「生きる力や価値観の再構築」に置いていることが特徴です。

理事長：中村清吾（昭和大学臨床ゲノム研究所長）※2025 年 5 月 9 日逝去

副理事長：岡山慶子（㈱朝日エル会長）

委員：清水研（こころプロジェクト）

事務局長：廣瀬瑞穂



□「アートとケア・いのちの対話館」

NPO 法人キャンサーリボンズが始めた医療者や科学者・アーティストとの対話を通して、「いのちとは何か、生きるとは何か」を見つめなおすプロジェクトとしてスタート。現在は、がん領域のみならず、障害のある方など様々な分野でアートと協働しています。

取組例：

◎「美術」:「アートとケア対話的講演会～天に向かって、地に向かって、脱皮する生」（対談：中村桂子／生命誌研究者、木下晋／鉛筆画家）、「“いのちを刻む”鉛筆画家・木下晋の眼差しをめぐって」（鼎談：中村清吾、神代浩／元東京国立近代美術館館長、岡山慶子）

◎「音楽・演奏」:「だれでもピアノ®」を通した Well-being の向上（新井鷗子／東京藝術大学客員教授、朝日エルと共に桑名市総合医療センターへ日本初となる医療現場へ「だれでもピアノ®」を導入）

◎「声・文学」：朗読ワークショップ、朗読ＣＤ 『あなたには、明日、生きる意味がある』

□『気球の旅』を共に

米国のメイヨ・クリニックで腫瘍精神科医として活躍された丸田俊彦先生から「気球の旅」と「アヴェイラブル（＝“あなたと共にいるという関係性”）」を学びました。

『気球の旅』は風にゆだねる旅です。空には光。眼下に広がる風景には植物の姿が見えます。野に咲く花、緑の森、畑の野菜――自然のいとなみが遠くからでも静かな生命の力を伝えてくれます。それら全が共にあることに気づかされます。

私たちの暮らしは、気球のように自由でありながら豊かなゴールへの旅。それは、一人ではできないから必要な時にそっと側にいてくれるアベイラブルな関係性が大切です。岡山慶子、高島元子

■出演者プロフィール

清水 研：がん研有明病院腫瘍精神科部長、精神科医・医学博士、がん患者 5,000 人以上とその家族との対話経験を持つ。
著書『もしも一年後、この世にいないとしたら。』、『他人の期待に応えない』、『絶望をどう生きるか』など多数。
メディア掲載（NHK、朝日新聞、産経新聞、ほか）。NPO 法人キャンサーリボンズ委員、「こころプロジェクト」リーダー。

米田真希子：プロピアニスト。ブラジルの一線で活躍後乳がん治療の為帰国。その後上肢リンパ浮腫を発症、2024 年再発。
1 人の人間としてリンパ浮腫とがんとの共存と向き合いながら、音楽への情熱を持ち続け、自分らしい挑戦を続けている。
HP: makikoyoneda.com

飯 靖子：桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業、国立音楽大学大学院オルガン科修了。ドイツライプチッヒ音楽院に留学。元青山学院女子短期大学教授。現在、霊南坂教会オルガニスト、聖歌隊指揮者。日本キリスト教団賛美歌委員会委員。東京 21 合唱団音楽監督。キリスト教ラジオ放送局日本 FEBC パーソナリティ。

秋山正子：認定 NPO 法人マギーズ東京 共同代表理事。訪問看護師・保健師、(株)ケアーズ代表取締役・白十字訪問看護ステーション統括所長、特定非営利活動法人白十字在宅ボランティアの会理事長・暮らしの保健室室長、第 22 期東京都社会福祉審議会委員・順天堂医療看護学研究科大学院非常勤講師。第 47 回フローレンスナイチンゲール記章受章

■プログラム

時間	プログラム
13:30	受付開始
14:00	開会挨拶 岡山慶子（朝日エル会長、NPO 法人キャンサーリボンズ副理事長）
14:10	オルガン演奏　※曲解説 飯 靖子
14:25	バイオリン ＆ ピアノ演奏　※曲解説 清水 研、米田真希子
14:35	講演『 不安を味方にして生きる 』 清水 研
15:35	トーク「アートはケア」 清水 研、米田真希子、飯 靖子、秋山正子 進行：岡山慶子
16:00	瞑想タイム ピアノ演奏：米田真希子
16:05	オルガン演奏　※曲解説 飯 靖子 讃美歌 525 番「球根の中には」：参加者
16:25	閉会挨拶 岡山慶子
16:30	閉会

会 場

14:00　開会

開会挨拶

岡山慶子(朝日エル会長、NPO 法人キャンサーリボンズ副理事長)

14:10　オルガン演奏 ※曲解説

飯 靖子

バッハの『主よ、人の望みの喜びよ』の名で広く親しまれていますが、「バッハのカンター ター147 番」でマリアのエリザベス訪問の日を記念して作られバッハの時代には、7 月の今ごろの季節に演奏されていました。

14:25　バイオリン ＆ ピアノ演奏 ※曲解説

清水 研、米田真希子

クライスラーの「愛の喜び」と「愛の悲しみ」

14:35　講演『不安を味方にして生きる』

清水 研

15:35　トーク「アートは、ケア」

清水 研、米田真希子、飯 靖子、秋山正子

進行：岡山慶子

秋山正子

アートとケアに関して、声のトーンとか声が及ぼす影響もとても芸術的と感じる。同じことを話し掛けるにしても、聞き取って答えるにしても、その方に届く、気持ちに届く声でお話をするということは、すごくアートだな、と思っている。

また問いかけたり、話をしたりする中で、その方のテーマ曲というのを大抵お持ちなので、そこを引き出して、（マストの世界になるかも知れませんが）、何がお好きかではなくて、例えばふるさとの音楽を思い出して、その音楽を聴くだけで心が開いていって、お話ができるところにつながっていったりする。それが声とか歌とかだけではなく、

ある風景だったり、絵画だったりというところにもつながって、その方のアートの部分を一緒に感じ取る、そういうことが私たちケアに当たる者にとって本当に必要で、それはただこちらから影響を与えるとか、そういうおこまがしいものではなくて。

米田さんのピアノ演奏を目の前で聴かせてもらって、聴衆の皆さんの熱気を感じている演奏者がいらっしゃるという、その相互作用の素晴らしさを、目の当たりにしました。

16:00　瞑想タイム
ピアノ演奏　：　米田真希子

16:05　オルガン演奏　※曲解説
飯　靖子
「ほめたたえよ、力強き主を」
ドイツの作曲家　Max Gulbins (1862-1932)作曲
讃美歌 21-7 番をテーマにした曲

讃美歌 525 番 「球根の中には」
歌:参加者
オルガン演奏　：　飯　靖子

16:25　閉会挨拶
岡山慶子

アンケートより

1.本日のイベントに参画していかがでしたか　回答数 37件

1.とてもよかった	33件(89%)
2.よかった	4件(11%)
3.ふつう	0件(0%)
4.あまりよくなかった	0件(0%)
5.よくなかった	0件(0%)

2. 本日のプログラムでよかったと思われるものに〇をしてください。複数選択　回答数 37件

1.講演『不安を味方にして生きる』	33件(89%)
2.バイオリン&ピアノ	35件(95%)
3.オルガン演奏	34件(92%)
4.トーク「アートは、ケア」	28件(76%)

3. 本日の会場はいかがでしたか単一選択　回答数 36件

1.とてもよかった	26件(72%)
2.よかった	8件(22%)
3.ふつう	2件(6%)
4.あまりよくなかった	0件(0%)
5.よくなかった	0件(0%)

4.「がん治療とこころ」についてご興味がありますか　回答数 37件

1.とてもある	23件(62%)
2.ある	9件(24%)
3.ふつう	5件(14%)
4.あまりない	0件(0%)
5.ない	0件(0%)

5.「こころプロジェクト」の活動で、参加してみたいと思われるプログラム　回答数 36件

1.朗読会	8件(22%)
2.グループカウンセリング	6件(17%)
3.専門家のセミナー・講演会	20件(56%)
4.コンサート	33件(92%)
5.絵画ワーショップ	8件(22%)
6.その他	0件(0%)

6. 「アートとケア」の『アート』として、特にご興味のあるテーマ　回答数 36件

1. 美術	18件(50%)
2. 音楽・声	34件(94%)
3. 文学	17件(47%)
4.身体表現	9件(25%)
5.その他	0件(0%)

ご意見など何でも、ご自由にお書きください。

- 今日は素敵なイベントにお声がけ頂きありがとうございます。私は父を腎臓がんで亡くし、すぐ下の弟は術後 15 年になりますが、脳腫瘍で療養中です。父の早すぎた死、弟の病気、がんは私の人生に大きな影響を与えました。キャンサーリボンズの活動は、大変重要な意味があると思います。がん患者の家族の心のケア、どこかへ話の持って行き場があれば、家族が今後生きていく勇気の源になると思います。
  気持ちを話せる場は絶対必要です。家族の心のケア、その辺のトークを伺いたいです。
- 大変すばらしい会でした。
- 心が洗われるような素敵な演奏に癒されました。
- いつもと違うお話、楽しんでの演奏。暑い中、迷ったけれど来て自分へのご褒美の午後でした。
- 米田さんの表情がとても素敵でした（ピアノを弾いている時）清水先生のバイオリンも初めて聴きましたがよかったです。(講演は何回か聴いています)。
- 大変すばらしかったです。もっと活動を広めていきましょう。
- 音楽は癒されます、それぞれの音の良さがあります。がんサバイバーです。いろいろなところで今日のお話をしたいと思います。
- 改めて「創造」することの大切さを知りました。
- とても素敵なアートとケア、コンサートでした。私も少しピアノを弾きますので何らかの形でご協力出来たらと思います。
- 新鮮でした。
- 米田さんのオリジナル曲の演奏すごくよかったです。ものすごいパッションを感じて感動しました。素敵な演奏をどうもありがとうございました。
- 自分のすべてを開放して生きて行きたい。今までの自分も大事にしながら（弱さを含めて肯定したい)。聞く耳を持ちたい。米田さんのピアノにとても感動しました。もちろんバイオリンのやさしい音色にも感動！（がんサバイバーです）
- 素晴らしかったです！ありがとうございました。
- 皆様とても素晴らしい内容（トーク、演奏）でしたが、2 時間の中には盛沢山だったような気がしないでもありません。どれもが素晴らしかったので、敢えてです。
- 自分の心の声、自分と向き合う時間を持ちながら生きて行きたいと思いました。
- 慌ただしい日常の中、自分をしっかりと見つめ直す貴重な機会を頂きました。ありがとうございます。
- とてもよい時間と空間をありがとうございました。
- 自分自身を見直す良い機会になりました。ありがとうございました。
- 予想以上に素晴らしいコンサートでした。本当にありがとうございました。
- 新しい世界を見させていただき感謝しております。がん患者、それに関わる方々を支える、ということにいち早く気づかれ、コミュニティを築かれていらした岡山さんの感性に出会い、私は何とぼっと生きて来てしまったんだろう、とつくづく思いました。
- 先生の must と want のお話は自分にも通ずるところがあり，かなり響きました。先生は芸術に助けて貰ったと仰っていましたが，自分は中・高の友人が解放してくれたように思います。
- 生の演奏、大変感動しました！！教会を使ってくださりありがとうございました！94 名の方でギッシリの礼拝堂をみて、出演者、スタッフ皆様の人徳を感じておりました。94 名の方にメッセージが届きますように。私には深く届きました！

- 素晴らしい会を設けていただき、ありがとうございました。清水先生とちょっとお話しさせていただき、今日の演奏はご自分でも今までに一番よかったと思っていると伺い、礼拝堂の隠れた価値を認識しました。聴衆が集中できる空間でもあるのですね。音楽は演奏者と聴衆が一緒につくるものだと思いました。
- 清水先生にお世話になっており、先生から今日のことをお聞きして参加させていただきました。人生で初めて教会に入り、オルガンの演奏も初めて聴きました。とても清らかで穏やかな環境でコンサートと講演を聴くことができました。私はクリスチャンではないのですが、教会の空気や音がとても心地よかったです。そして、ピアノとバイオリンの音とともに演者お二人の思いと魂が、次々胸にズドンと響いてきて、癒し、強さ、希望となって、それがまさに私にとってのケアになりました。私も踊りをやっているので、自身で演じているときも自分にとってのケアになっているのかなと考えたりもしました。「アートは、ケア」という言葉を実感できた日になりました。次回も絶対に参加させていただきたいと思います。
  このような機会をありがとうございました。